



## 平成29年度は監査委員を 仰せつかりました。

### 監査委員の役割

監査委員は、公正で合理的かつ効率的な行政の確保のため、県が最少の経費で最大の効果を上げるようにしているか、組織及び運営の合理化に努めているか、事務の執行が法令などの定めるところに従って適正に行われているかなどの観点から、各種の監査を実施します。岐阜県の監査委員の定数は5人で、県議会議員から2人、県の財務管理、事業の経営管理、その他行政運営に優れた識見を有する人から3人選任されています。県議会議員から選任される監査委員を議選委員、識見を有する人から選任される監査委員を識見委員といいます。

県議会の日程とは別に年間で約50日100以上の部署の監査する予定です。監査委員の期間は一般質問には登壇しないこととなりますが、常任委員会（農林委員会）そして個別に各部署へこれまで同様に政策提言をしてまいります。

## 10年を振り返り、 新たな挑戦!

皆様の温かいご支援をいただいで元気いっぱい活動をさせていただきながら、県議会議員選挙に初めて当選してから10年という節目を迎えることができました。「ひとづくり」「まちづくり」「活力づくり」「夢のもてる社会づくり」を政策の軸に掲げて、県議会の一般質問に29回登壇して提案や施策の働きかけをしてきました。父や妻が他界したうえ母が大病で長期の入院生活をするなど私生活においては苦しいこともたくさんありましたが、ここまで議員活動ができたことを感謝申し上げます。今回の発刊を機に議員としての活動や取り組んできた施策を振り返りながら、さらに岐阜県そして各務原市の未来のために一層邁進してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

## 10年間の議会における経歴

- 平成21年 企画経済委員会副委員長  
(財)岐阜県産業経済振興センター理事
- 平成22年 岐阜県土地開発公社理事
- 平成23年 教育警察委員会副委員長  
(財)岐阜県農畜産公社理事
- 平成24年 厚生環境委員会 委員長
- 平成25年 教育警察委員会 委員長
- 平成26年 総務委員会 委員長
- 平成27年 土木委員会 委員長  
岐阜県土地開発公社理事
- 平成28年 企画経済委員会 委員長  
岐阜県森林公社理事
- 平成29年 監査委員

## 議員発案条例に対しての積極的な取り組み

### 1 岐阜県清流の国スポーツ推進条例（平成25年3月26日 施行）

（条例の目的）

スポーツ（運動競技及びレクリエーションその他の目的で行う身体の運動をいう。）の推進について、基本理念を定め、並びに県の責務及びスポーツ関係団体の役割を明らかにするとともに、スポーツの推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民の心身の健全な発達、明るく豊かな県民生活の形成及び活力のある地域社会の実現に寄与すること。

#### ●条例策定にあたって私が提案したこと

- ・ 子供から高齢者まで生涯にわたり日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画することで明るく健康で心豊かな県民生活の形成と活力ある地域社会の実現を目指すことを序文に掲げました。
- ・ 条項においても「生涯スポーツの推進」「健康の保持増進」を設けるように提案しました。
- ・ スポーツの定義を運動競技及びレクリエーションその他の目的で行う身体の運動として「レクリエーション」の位置づけを明確にするよう提案しました。

### 2 岐阜県中小企業・小規模企業振興条例（平成28年4月1日 施行）

（条例の目的）

小規模企業の事業の持続的な発展その他の中小企業の振興について、基本理念を定め、並びに県の責務及び市町村、中小企業者、中小企業団体その他の関係者の役割等を明らかにするとともに、中小企業の振興に関する施策の基本となる事項を定めることにより、中小企業の振興に関する施策を総合的に推進し、もって地域経済の健全な発展及び県民生活の向上に寄与すること。

#### ●条例策定にあたって私が提案したこと

- ・ 中小企業が女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、障がい者の雇用拡大、大都市圏からの有為な人材受け入れなど誰もが活躍できる場の創出ということを序文に盛り込みました。
- ・ 産学官金の連携を高めるために、金融機関の役割や大学等の役割という条項を設けるように提案しました。
- ・ 中小企業に対する認識を高めるために「県民の協力」「教育の充実」という条項を設けました。
- ・ 基本方針に後継者をはじめとする事業活動を担う人材の育成及び確保を図るということを提案しました。

## 岐阜県議会議員として初めて…

議員発案の条例についてはこの他にも平成22年4月「岐阜県民の歯・口腔の健康づくり条例」平成22年9月「岐阜県がん対策推進条例」平成26年12月「岐阜県家庭教育支援条例」など検討委員会を通して積極的に関わってきました。そうした取り組みを評価いただいて平成26年度「第14回都道府県議会議員研究交流大会」の分科会「議会の政策立案機能の強化」において岐阜県議会議員として初めてパネラーを務めました。併せて岐阜県の取り組みについて約15分の議員発案条例についてプレゼンテーションを行いました。（平成26年11月11日）



## 平成22年第4回岐阜県議会定例会 2010.10.14

10月6日県議会にて一般質問に登壇しました。私は常々、「水と空気はタダじゃない」という考えを持っています。人間が生きるために必要不可欠な「水」と「空気」を生み出す岐阜県の森林は、岐阜県のみならずこの地域全体の大切な財産であり、宝です。その大切な財産、宝の恵みによって都市部での生活も成り立っていることを考えると、「水と空気はタダではない」という視点は、山間地域と都市部の格差は正や、中山間地における雇用拡大など岐阜県にとって新しい戦略の創設につながる大切な視点だと思います。

## 山川地熱発電所

2013.7.8

枕崎から開聞岳を見ながら指宿へ向かい、途中でJR日本の最南端の西大山駅に立ち寄ってから山川地熱発電所を視察しました。昨年同じ九州で視察した八丁原地熱発電所に比べて規模が3分の1程度でしたが、発電設備や冷却施設などがコンパクトで解り易い施設でした。再生エネルギーの必要性が高まっていますが、コストパフォーマンスを考えるとなかなか厳しい問題もあると感じました。しかしながら安全性や環境問題、資源活用などを考えると地熱発電はもう少し研究と推進されるべきだと思います。

## 一般質問 登壇回数

2011.3.22

新聞にこの4年間の任期中に、各県議会議員が何度登壇したのか、登壇回数の多い順に記載されました。12回登壇した私は、回数の多い方でランクされていました。やらのあかん新聞でも紹介させていただきましたが、一般質問登壇にこだわり続けたのは、①情報収集はじめ準備することで学びが多いこと ②県職員との打ち合わせにおいて、松岡正人という議員はどんな理念なのかを伝えられるという点でした。議員の役割が問われている昨今ですが、マスコミは議員の資質や活動を一般の方に評価していただけるような報道をしてほしいと思います。

## 団地の高齢化

2013.10.30

今日お会いした方から団地の高齢化に対する取り組みが充分にされていないというご指摘をいただきました。各務原市には大型団地が多く住民が高齢化してきたことで、買い物や公共交通の不便さ、自治会などご近所の協力体制が課題であるという内容でした。私が2年前に議会の一般質問で「団地の高齢化」に対する質問での提案によって岐阜県では「団地のまちづくりの検証について」取り組んでいます。5年後にはさらに深刻な状況になると思いますし、早くそれぞれの地域で相互扶助の体制づくりをしてほしいと感じます。

## ものづくりに対する施策

2011.6.15

6月定例会の一般質問に向けて、商工労働部の情報産業課とモノづくり振興課の方々と打合せを行いました。県のものづくり産業に対する施策は色々と行われていますが、集約しきれていないように感じています。各務原市にある「テクノプラザ」に人材養成から技術支援、情報の集約など一般企業の方々が利用しやすい、「ものづくりの拠点」をつくる提案をする予定です。現在の組織ではなかなか実現が難しそうですが、組織の再編や機構改革も含めて今回の質問で県に提案していければと思います。

## ジビエ

2014.2.7

昨日の新聞に県内で捕獲されたジビエ（イノシシや鹿、熊のお肉お料理）を提供するお店が3件紹介されていました。昨年3月に私は県議会の一般質問で有害鳥獣の肉をジビエとして活用することを提案したことで、ガイドラインが策定され獣肉を加工することができるようになりました。学生時代に京都で獣肉を加工販売しているお肉屋さんでバイトしていたこともあり、ジビエの美味しさや料理の仕方を知っていました。ジビエ料理を楽しむ人が増えることや観光資源になって有害鳥獣駆除がより一層進んでいけばと思います。

## 各務原養護学校 作業学習

2012.10.2

各務原市教育委員会と公益社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会の協定書の調印式に立ち会いました。この協定は各務原養護学校の作業学習に関してビルメンテナンス協会が支援する内容で結ばれ、ここ数か月で協定内容を詰めてきました。県教育委員会とは教育警察委員会の委員だった2年前に特別支援学校の就業支援に関して協定が結ばれており、今回は各務原市教育委員会と締結しました。ビルメンテナンス協会の顧問をさせていただいており、わたくしの提案に対してご理解をいただいた協会の皆様には感謝しております。

## 中小企業支援

2015.5.25

6月の定例会にむけて、自民党岐阜県連の政務調査会で中小企業の支援に関する条例を提案することを考えています。一昨年の秋に金融庁から地方の銀行に対して地域貢献を考えた地元企業に対する積極的な支援について通達が出されましたが、なかなかうまくいっていないように感じます。今日の午後からビルメンテナンス協会の若手幹部職員の皆さんに県政報告させていただくとともに、業界の現状や要望について意見交換させていただきました。私は中小企業の活力なくして地方創生はないと考えており、特に若い世代の人々にいろいろな意見やご提案をいただきたいと思っています。



2010年10月から議員としての活動や私の想いをブログで綴ってきました。  
7年近く毎日書き続けることは大変でしたが、報告新聞を作成するたびに活動の  
反省や指針として大変に役立っています。

**岐阜県と大学との就職協定 2016.8.3**

午前中に県庁において行われた岐阜県知事と同志社大学の学長との間で就職支援に関する協定が結ばれ、その締結式の席に同席させていただきました。「若者の県内就職の促進に向けた取り組みについて」昨年の7月の定例会の一般質問で質問した際にご提案した「大学との連携」について、就職協定という形で実現してきています。既に愛知県内の大学3校、岐阜県内1校に続いて5校目の協定となりますが、東海地区以外の大学で一番初めに母校が締結して頂けたことを嬉しく感じています。人口減少や若者の県外流出など地方創生を進めるうえで大きな課題はたくさんありますが、若者が魅力を感じる「清流の国ぎふづくり」に向けて頑張らなければなりません。

**健康科学センター 2017.2.28**

昨日に続いて提出議案に関する説明会が開催されて、教育委員会と県警本部からそれぞれ説明を受けてから質疑応答が行われました。午前中で全ての委員会関係ごとの説明会が終了したので、健康福祉部の政策担当と地元にある岐阜県健康科学センターの施設の改修と活用について面談しました。昨年6月の一般質問で取り上げた健康科学センター内のハイビジョンシアターが休眠している状況を改善するために改修工事の予算が計上されましたが、それに加えて県民がもっとセンターの施設を活用できるように提案しました。県有施設の有効活用については条例などの制約がありますが、健康科学センターを含めて県営尾崎住宅、テクノプラザなど各務原市内には多くあるので知恵を出してしっかり取り組みたいと思います。

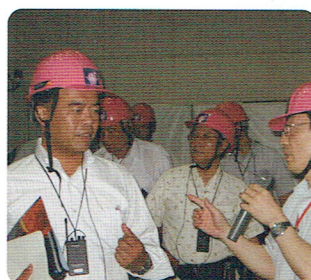
**県営公園にレクリエーション広場を 2016.10.20**

朝一番に各務原市役所を訪れて都市建設の幹部と面談し各務原市内の県道関連の道路要望や都市建設部所管の県の事業全般について打ち合わせをしました。そのあと県庁で都市建築部の都市公園担当と清流の国推進部のレクリエーション担当の両部署と県営公園にレクリエーション広場を設置することについて打ち合わせをしました。全国レクリエーション大会の成功が一過性に終わらないように「ミナレク運動」を推進するために、比較的予算もかからない具体的施策を提案しました。平日の公園来訪者の増加による県営公園の活性化や健康増進に向けたレクリエーションの普及に大きな効果があると考えてるので来年度予算に対しても積極的な取り組みを期待します。

**移住定住策 2017.4.25**

先日の市長選でも色々な人が取り上げた人口減少と少子化の問題ですが、地方都市にとってはすでに死活問題になってきており岐阜県はかなり早くから取り組んできています。私が提言してきた県営住宅の活用や産学官金の連携など少しずつ具現化していますが、より一層の取り組みの必要を感じています。「団塊の世代ジュニア」と言われる40歳前後の都会で非正規雇用のために結婚できない若者を人材確保に苦戦している県内の中小企業が正規雇用で受け入れられるようなスキームを確立することが移住定住策として大きな可能性があると思います。「緑豊かで都会に近い岐阜県、正規雇用で豊かな生活を!!」というコンセプトで、都会から移住定住を呼びかけ県営住宅の空室で受け入れながら婚活サポートする施策をなんとか形にしたいと思います。

**視察を通して学んだことを県政へ反映してきました**



# 一般質問による政策提言

10年間で29回一般質問に登壇して「ひとづくり」「まちづくり」「活力づくり」「夢のもてる社会づくり」という理念に基づいて政策提言をしてきました。

(以下項目ごとに質問した年・月)

## ・ 中小企業支援

H21.3 H21.7 H22.6 H22.12 H24.6 H26.3 H27.7 H28.10

## ・ 産業人材育成

H19.12 H21.3 H23.6 H25.3 H26.6 H26.10 H27.7

## ・ 医療体制の充実

H22.6 H23.6 H23.12 H25.6 H27.3 H27.12

## ・ 障がい者就労支援

H22.3 H24.6 H26.6 H28.10

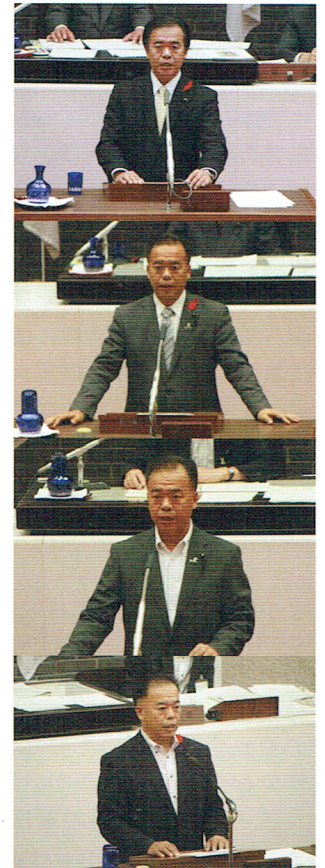
## ・ 県有施設の効率的な活用

H20.3 H20.10 H22.12 H24.9 H26.10 H27.12 H28.6

## ・ 教育への取り組み

H19.6 H22.3 H23.12 H24.6 H27.3 H27.7

平成24年9月定例会において私が提案したスポーツ振興に関する条例の必要性を提案したことをキッカケに「岐阜県清流の国スポーツ振興条例」が施行されました。この他にも産業人材センターのテクノプラザへの設置や特別支援学校での就労支援の協定、中小企業総合人材確保センターの設置、大学との就職に関する協定、救急救命士の研修制度、ジビエのガイドライン策定、大型団地に対する施策、県営尾崎住宅の改善など一般質問において提言したことが具体的施策につながりました。



# 現在、これから取り組むこと

## ・ 各務原市内の県有施設の整備と有効活用

尾崎県営住宅のリニューアルによる若者の移住定住策や婚活サポート  
健康科学センターの休眠施設の改修による防災拠点としての活用  
県と(株)VRテクノとの連携によるテクノプラザの「産業人材育成」「モノづくり産業支援」拠点化  
県営公園(河川環境楽園と各務原公園)の整備と活性化

## ・ 基盤整備事業

日野岩地大野線の拡充と岐阜市方面への事業化  
岐阜鶉沼線の既設以西の建設推進と早期の新境川への架橋  
三輪川島線21号バイパス以南の拡幅(岐阜各務原インター周辺整備)  
雇用拡大につながる企業誘致と新たな工業団地の建設  
公共交通機関の活性化と利用促進の働きかけ

## ・ 医療福祉関係

救急医療体制の拡充(IOTの活用、救命士の育成)  
障がい者就労支援 特別支援学校の職業教育における企業との連携

## ・ 中小企業支援

人口減少による担い手不足に対応した人材育成や確保などの施策推進  
産学官金の連携強化によるモノづくり産業の技術面や販路拡大、資金面など様々な支援体制

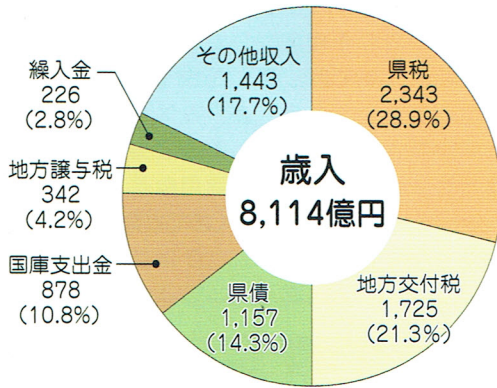
## ・ 教育

各務原市内の高校に工業関係の科を設置するとともにモノづくり人材を育成  
ふるさと教育推進による若者の県外流出抑止とUターン志向の醸成

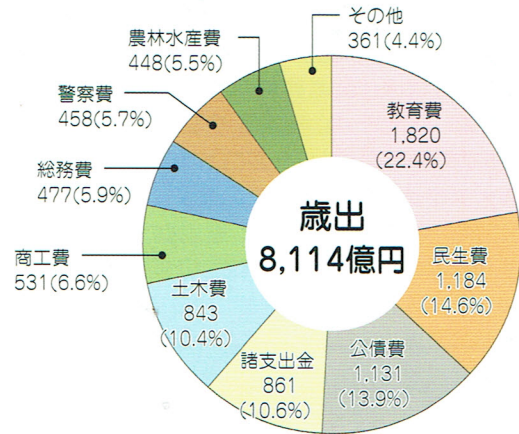
# 平成29年度 岐阜県一般会計当初予算

一般会計予算 8,114億円 対前年度 当初予算比 +0.1% 5年連続の増額予算

歳入予算額及び構成比 (単位:億円)



歳出予算額及び構成比 (単位:億円)



## 「清流の国ぎふ」づくりの全開

平成29年度は、節度を保った財政運営と、メリハリのある政策展開を両立していくとともに、「清流の国ぎふ」づくりを一層深化させ、全開していくための積極予算が編成されました。

### I 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

- 1. 産業を支える人材の育成**
  - ・新 中小企業総合人材確保センターの開設等 (1億6,100万円)
  - ・新 観光人材の育成・確保 (1,200万円)
  - ・新 「ぎふアグリチャレンジ支援センター」の新設 (2,694万円)
- 2. 地域の活力を生む人材の確保**
  - ・県内出身大学生等のUターン促進のための奨学金制度の充実 (7,622万円)
- 3. 子育てしやすく女性が働きやすい環境の整備**
  - ・新 第2子以降の放課後児童クラブ利用料減免を実施する市町村への助成 (2,900万円)
- 4. 教育の充実、文化・芸能の振興**
  - ・新 西濃地域における高等特別支援学校の整備 (1億2,879万円)
  - ・新 県博物館機能の全県展開 (1億5,159万円)

### II 地域の魅力を活かした「清流の国ぎふ」づくり

- 1. 「岐阜県成長・雇用戦略」の実行**
  - ・新 中小企業のIoT導入を支援する助成制度の創設 (5,500万円)
  - ・企業のモノづくりにおける開発支援拠点の整備 (7,250万円)
  - ・新 飛騨牛の販路拡大に向けたインドネシアへの戦略展開 (1,710万円)
- 2. 観光・交流産業の基幹産業化の推進**
  - ・関ヶ原古戦場を核とした広域観光の推進 (3億2,590万円)
  - ・新 「ひがしみの歴史街道」を核とした広域周遊観光の促進 (2,000万円)
- 3. 未来につながる農林畜水産業づくり**
  - ・鳥獣害対策・シビエの推進 (6億5,864万円)
  - ・新 100年の森林づくり計画の策定 (1,270万円)
- 4. スポーツ立県戦略の推進**
  - ・新 御嶽濁河高地トレーニングセンターの整備 (1億1,085万円)

### III 安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり

- 1. 医療と福祉の充実・連携**
  - ・看護人材の育成・確保 (2,993万円)
  - ・新 子ども食堂を実施する市町村に対する支援 (800万円)
  - ・新 大腸がん検診の自己負担無料化に取り組む市町村に対する助成 (4,900万円)
- 2. 災害に強い県土づくり**
  - ・新 熊本地震を踏まえた内陸直下型地震の震度分布解析 (820万円)
  - ・新 高病原性鳥インフルエンザの発生を教訓とした事前対策 (7,250万円)
- 3. 美しい自然と環境を次代へ引き継ぎ**
  - ・新 中部山岳国立公園活性化プロジェクトの推進 (1,220万円)
- 4. ネットワーク・インフラの整備**
  - ・東海環状自動車道西回り区間及びICアクセス道路の整備促進 (230億8,520万円)
  - ・新 リニア活用戦略に基づく取組みを支援する助成制度の創設 (1,000万円)
  - ・濃飛横断自動車道(中津川工区)の整備推進 (9億円)

## まつおかまさと 松岡正人事務所

[事務所] 〒504-0908  
岐阜県各務原市那加織田町2-5-1  
[TEL] 058-389-6665  
[FAX] 058-389-6676  
[E-mail] shiawase@yaranaakan.jp



ホームページ



・ホームページ <http://yaranaakan.jp/>  
 ・ブログ <http://yaranaakan.jp/blog/>  
 ・facebook <https://www.facebook.com/pages/松岡-正人/131987690330451>

松岡正人

検索